

租税教育実践レポート

私たちの生活と税金の関わり

登米市立石越小学校教諭 6学年 石川 裕佳子

租税教室実施年月日：令和3年1月15日 34名

1 実践計画・指導のねらい

児童は5月に「わたしたちの生活と政治」の学習で、税金を納めることは義務であることを学んでいる。税金が生活に役立っていることや教科書が無償で配られていることについても知っている。しかし、自分たちの身の回りで税金がどのように使われているのかを具体的に知らない。消費税についてはもっと安い方が良くと安易に答える児童も見られた。身の回りでどんなことに税金が使われているのかを知り、税金に対する自分の考えを深めさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身の回りで何に税金が使われているのか、知っていることや疑問を話し合う。 消費税について、意見交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 消費税！ ● 教科書は無償なんだよね。 ○ 消費税についてどう考えていますか。 ● もっと安くなってほしい。 ● しかたがない。義務だし…。 □ 使用教材名 社会の教科書「政治・国際編」
2	<ul style="list-style-type: none"> 租税教室（登米法人会の方をお招きし、出前授業を実施する。） 税金の種類や意味、使われ方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金の種類や使われ方について学ぼう。 ● 教科書や道路を作る他にどんなことに使われているんだろう。 ○ 税金が使われているものと使われていないものに分けよう。 ● 工場も税金だと思う。 ○ 税金がなくなるとどうなるのだろうか。 ● 学校に行くのにお金がかかる。 ● 救急車が呼べないかも…。 □ 使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト） 
3	<ul style="list-style-type: none"> 税について学んだことや考えたことを表す。「令和2年度 税に関する絵はがきコンクール」に応募する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金に関する絵はがきをかこう ● 税金に関係するキーワードを入れよう。 ● どんな絵で表そうかな。
4	<ul style="list-style-type: none"> 登米市では税金を使って、どんなまちづくりが行われているのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登米市のまちづくりはどんなことが行われているのだろうか。 ● 学校のPCも税金で整備されているのか。 ● 石越こども園も税金で建てられるんだね。 □ 使用教材名 令和2年度 登米市の予算とまちづくり

【指導のポイント】＜1時間目＞

5月に学習している日本国憲法を思い出させ、税について関心をもたせる。身近な消費税について意見交流を行う。

【指導のポイント】＜2時間目＞

消費税は安い方がいいのではないかという児童も半数いた中で、租税教室を実施したところ、税金がなくなると今の日常生活を送れないことに気付いた児童が多かった。そして、税金に対する考え方が変わった意見や感想が見られた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

学習したことを表現できた。



【指導のポイント】＜4時間目＞

さらに身近なこととして捉えるために、登米市のまちづくりの具体的な活動を紹介する。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

◎ 身近なところに税金が使われていることや具体的な使い道を知ることができたことで、税金が私たちの生活を支えている大切なものであることに気付くことができた。

◆ 5月に実施した学習内容の復習にもなったが、時数を確保することは大変だと感じた。

児童の感想より

- ・ 税金がなかったら、あたりまえの生活がなくなると思った。税金に対する考え方が変わった。
- ・ 税金は日常生活を支えてくれていると思った。私も税金を払うようになったら、ちゃんと納める大人になりたい。